

日本脳炎に気を付けよう！

蚊に刺されないように注意しましょう

蚊の多い季節がやってきました。コガタアカイエカ(以下、蚊)に刺されると日本脳炎に感染することがあります。

感染予防

蚊は日没後に活動が活発になります。このような時間帯に屋外に出るときは、蚊に刺されないように、肌の露出が少ない服を着るようにしましょう。

屋内では網戸や蚊取り線香などを利用しましょう。

また、感染に対する抵抗力を落とさないために、十分に栄養、睡眠をとり体調管理をしましょう。

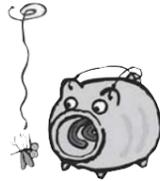
日本脳炎ウイルスについて

日本脳炎ウイルスは、豚の体内で増殖し、蚊を媒介して人に感染します。人から人への感染はありません。例年、日本脳炎ウイルスを保有する豚が西日本地域で確認されています。豚の多い場所や、蚊が発生する水田・沼地の周囲は特に注意が必要です。

予防接種の機会を逃した方の接種期間が延長されています

日本脳炎の予防接種の差し控えにより、定期予防接種を受けていない方(平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれ)は、特例措置により、20歳未満まで定期予防接種ができるようになっています。

合計4回の接種がお済みでない方で、お手元に予診票がない方はお問い合わせください。

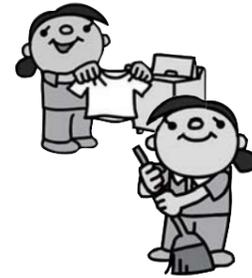


		回数	特例措置による接種年齢と回数
1期	初回接種	2回	20歳未満 1期の不足分 (1～3回の接種)
	追加接種	1回	
2期		1回	9歳以上20歳未満 1回接種

■問い合わせ先
健康介護支援課親子すこやか班 ☎52-9281

難病の方も利用できます 障害福祉サービス

平成25年4月に施行された障害者総合支援法により、障害児・者の範囲に難病等の方が追加されています。対象となる方は、身体障害者手帳がなくても、必要と認められた障害福祉サービス等を利用することができます。



■利用できるサービス

障害福祉サービス(居宅介護・短期入所・就労移行支援など)、相談支援、補装具、地域生活支援事業など

■対象者

関節リウマチやパーキンソン病など障害者総合支援法の対象疾患(151疾患)による障害をお持ちの方。対象疾患については、こちらのホームページをご覧ください。

難病情報センターHP

Web 難病 検索

http://www.narbyou.or.jp/

■問い合わせ先

福祉事務所 社会福祉班 ☎53-3117

個別検診できます 子宮頸がん・乳がん検診

子宮頸がん・乳がん検診が高知県内の指定医療機関で受診(個別検診)できます。

ご希望の方は、健康介護支援課健康づくり班までお申し込みください。医療機関用の受診票・問診票・医療機関一覧表を送付します。

■子宮頸がん検診対象者：検診料金

20歳以上の方

<検診料金>

20歳～70歳の方 1,000円

71歳以上の方 300円

※平成28年3月31日時点の年齢です

■乳がん検診対象者：検診料金

40歳以上の方

<検診料金>

40歳～69歳の方 1,000円

70歳以上の方 300円

※平成28年3月31日時点の年齢です

■検診の受診期間

平成28年1月31日まで

■申込・問い合わせ先

健康介護支援課健康づくり班

☎52-9282

ストップ風しん 無料抗体検査

風しんは妊婦、特に妊娠初期の女性がかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し、先天性風しん症候群という病気にかかることがあります。家族で風しん抗体検査を受けましょう。

■対象者 高知県内に住所を有する方で、妊娠を希望する女性や同居の方

■実施期間 平成28年1月31日まで

■実施場所 高知県から委託を受けた医療機関

■検査費用 無料

※風しんの予防接種への助成ではありません。

■問い合わせ先

高知県健康対策課 ☎088-823-9677

中央東福祉保健所衛生環境課 ☎53-3171

※詳細な情報は高知県HPをご覧ください。

Web 高知県 風しん 検索

熱中症にご注意 予防と対策を！

①暑さを避けましょう

日陰を歩いたり、日傘を利用しましょう。気温・湿度ともに高い日は、熱中症になりやすいので特に注意が必要です。適度にクーラー等も利用しましょう。

②服装を工夫しましょう

通気性の良い服を着て、外出時には帽子をかぶりましょう。

③こまめに水分補給をしましょう

室内でも、こまめに水分補給を心がけましょう。アルコールでは尿の量が増えるので、水分補給になりません。就寝前の水分補給も大切です。

④体調を整えましょう

体調が悪いときは外出や運動を控えましょう。

■問い合わせ先 健康介護支援課 健康づくり班 ☎52-9282



ダニにかまれると 病気になることがあります

野山にはマダニなどのダニがいます。ウイルスを保有するダニにかまれると、病気になることがありますので注意しましょう。

病名	潜伏期間	症状
重症熱性血小板減少症候群	6～14日	発熱・吐き気 腹痛・下痢 等
日本紅斑熱	2～8日	高熱・頭痛・悪寒 倦怠感・発疹 等
つつが虫病	5～14日	

■ダニにかまれたら

吸着しているマダニを無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまふことがあります。できるだけ病院で取ってもらいましょう。また、ダニにかまれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状がある場合は、すぐに病院を受診し、ダニにかまれたことを伝えましょう。



野山のダニに注意！

■ダニにかまれるための対策

- ①草むらなどに入るときは、肌が露出しないように、袖口を絞れる長袖、長ズボン、手袋、足を完全に覆う長靴等を着用する。
- ②ナイロン製などのツルツルした衣類はダニが付きにくく予防に効果的。また、色の薄い服は付着したダニを見つけやすい。
- ③防虫スプレー等を活用する。
- ④地面や草むらに直接寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりしない。

■野外で活動したあとは

- ①上着や作業着は、家の中に持ち込まない。
- ②脱いだ衣類はすぐに洗濯するか、ナイロン袋に入れて口を縛っておく。
- ③すぐにシャワーや入浴をして、ダニが付いていないか確認する。
- ④野山や河川から帰った犬、猫はダニが付着している可能性がある所以要注意。

■問い合わせ先

健康介護支援課 ☎52-9281

中央東福祉保健所衛生環境課

☎53-3171